

後藤英嗣 書(県三)

訓 明 朗
信 念
校 覇 氣



第 21 号

発行 県立富士宮北高等学校同窓会
北 嶺 会
静岡県富士宮市宮北町 230 (北高内)
電話 (0544) 27-2533(代)
編集 北 嶺 会 広 報 部
部 長 内 藤 修 次
印刷 (株) き う ち い ん さ



体育文化後援会
に感謝して

校長 田 神 耕 一



富士宮北高に勤務させて
頂き、感謝しているものは
沢山ありますが、中でも広
大な校地と素晴らしい環境
に恵まれていること、次
に北嶺会の方々の、母校に
対する熱意とご支援であり
ます。
特に、体育文化後援会の
多大な御支援と御協力であ
ります。役員の方々はそれ
ぞれ企業のオーナーとして
大変御多忙のなか、会議か
ら会費のお願いまで、東奔
西走して頂き、感謝あるの
みであります。

その御恩に報いるべく、
懸命に努力しておりますが
北嶺会の皆様の御期待に十
分応えられない現状で内心
じくじたるものがあります。
比較的体育部の活動は、
その活動が活性化しつつあ
りますが、文武両道を志す
本校にとりましては、文化
部の活動の活性化が望まれ
るところであります。
中でも、ブラスバンド部
と演劇部の活動は上昇機運
にありますが、文化部全般
の活性化が望まれています。
文化と体育の部活動の活

性に、学校全体の活性化
に繋がり、学業成績の向上
と生徒の豊かな人間性の育
成に波及することを乞い願
うものであります。
日本一の施設に恵まれ、
日本一の同窓会(北嶺会)
を支えられ、日本一の高校
生を育てる責任を痛切に感
じますが、教員として、こ
れほどやり甲斐のある仕事
はないと思っております。
重ねて体育文化後援会に
深甚なる感謝を申し上げて
拙文を閉じます。

装いも新た!

母校の全容



北嶺会会長 岡村 和 郎

今年(の)の総会は、昨年以上
の大勢の皆さんに御出席を
いただき有難うございまし
た。厚くお礼申し上げます。
年に一度の総会は、同窓
の皆さんが一堂に会し豊か
に語り合い、暖かい心の絆
を織りなす唯一の機会と思
います。
役員会では、前年度に引
き続き遊と和の交流を何よ
り大切に努力しております
が、それぞれの皆さんが多
忙の日常の中ではなかなか
思うようにいかず、常に理
想と現実が異なるのが悩み
の種であります。
従って、来年の総会は更

北嶺会の繁栄を願って

昔なつかしいなじみ深い四〇〇Mトラック、その右側に平三
総体に合わせ竣工した本格的相撲場：皇太子も熱烈観戦を楽し
まれたところだ。その右上中央並木道右上には第二体育館、こ
れも平三総体に合わせ完成したものだ。その右側が北辰館(武道
館)がある。その横には二五メートルプールを擁し、旧体育館
の裏側には創立五〇周年を記念し造営された日本庭園がある。
校舎は鉄筋コンクリート三階建・三棟を配し画面には見えな
いが本年八月に完成した屋内野球練習場がある。又左側上部
はナイター設備も完備し充実した野球場。その下段は昭和三十
二年三競技大会の折造営されたソフトテニスコート十面を擁し
ている。うっそうと茂った木立ちの中一番右隅には昔なつかし
いお稲荷さんが今もって鎮座し母校の繁栄を見守っている。
新装なった正門の南側の一角……県に移管の際委譲された
とか……。県の建物が四隅の一角に殿とあり北嶺荘も何となく肩
身がせまいのか小さく見える。おしむらくは若し、ここに新北
嶺荘が建設出来たら……。同窓生の切なる願いである。

に懇親会を中心に再検討を
行い、だれもが、来て良か
った、楽しかったと喜んで
いただけるよう、また、一
人でも多くの会員に参加し
ていただけるよう努力をい
たします。
このため、本年度は、既
に大勢の皆さんにお願いし
御協力をいただいている学
年幹事の方々のお力を頼り
に、会員との横の連絡を密
にする態勢を整えていきま
いと切望しております。各
学年幹事の更なる御協力を
懇請する次第です。
北高も上の写真と解説を
見てお分かりのとおり、そ
れぞれの先輩方が植樹され
た木々は立派な成木となっ
て、緑豊かな中に近代的に整
備充実した校舎並びに体育
施設が点在し、規模、施設
環境は全国屈指の学校に発
展しております。この恵ま
れた環境の中で生徒も田神
校長以下情熱に燃えた先生
方の指導の下、後の北高だ
よりのとおり立派に成って
くれておりますことは、ま
ことにうれしく喜ばしい限
りではありません。
皆様方の変らぬ御支援を
お願い申し上げます。



☆



どうして東京へ持って帰ろうかな

☆

☆

☆

☆

☆



御健勝を……

☆

☆

☆

☆

☆



れいろうたかき……

☆

☆

☆



アタッタヨ

☆

☆



百万ドルの笑顔

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆



☆

☆

☆

☆

☆

☆



☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

☆

平成5年度 北嶺会総会

1993年5月23日(日)

in 高砂殿



来年もまた



奥さんに一番喜ばれた人



ファイナル



昭和29年辛(県2期)

来年は5月29日(日)高砂殿

平成五年五月二十三日、懐かしい顔・顔・顔……

その中には本年は大変懐かしい恩師山田貞蔵先生の顔もあったが、今もって愛嬌とした勇姿に、こやかな笑顔……。どの顔も皆幸せ一杯に見えた、いつもながらの同窓会、ここ高砂殿は熱気一ぱい……楽しい北嶺会の開会だ！恒例となった関東支部長(副会長)の開会のことば……凍としたり一期生の気骨ある発声を機に岡村会長のあいさつと続く「遊と和」を常にスローガンと掲げ、元氣一杯の小気味よい話に会場も明るい雰囲気/早速議事進行となる。一連の議題もスムーズに進行、すべて完了した。来賓として田神校長からのすばらしい祝辞を聞き、予定時間一時間はあつという間に過ぎ去った。続いて第二部の楽しい懇親会に移る。森本副会長の開演のあいさつに続き恒例となった初代北嶺会長である斎藤顧問の乾杯で幕があいた。本年は初めての試みとしてアトラクションは林家カレ、ライス子による漫才……。少し酒席ざわつきの中で演技もそぞろ。それだけ皆の旧交あひ温める話題が強かった証拠である。これ又恒例となったお楽しみ抽選会、景品は年々豪華となり車ならぬ自転車も登場。ドラムカン三本、商品券、お米、醤油、トイレットペーパーなど、たくさん景品は皆同窓生からの贈り物である。協賛下さった二〇社に改めて感謝/多謝……

今まで最高の一八〇人の宴会は最高に盛り上がり中締めをおしみつ三宅副会長の来年を約束して散会した。最終の星かげのワルツの、つないで歌った手のぬくもりが同窓のきずなを一層つよくしたに違いない。

大工センター
株 東 海
蓮池安量(商3)
土建資材 全般
建築金物 取扱
LPガス
☎(0544) 26-4628

モーター油代理店
岩谷産機代理店

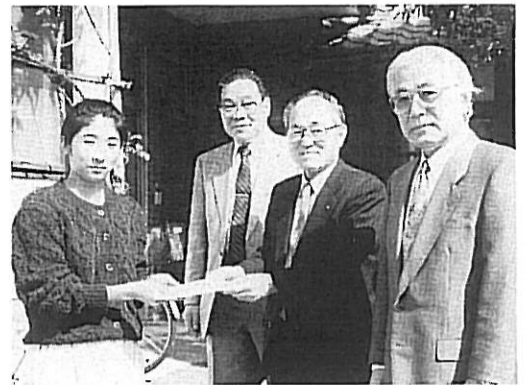
岡重株式会社
代表取締役社長 岡村和郎
本社/静岡県富士宮市ひりが丘700番地
☎(0544)27-6111

森本歯科医院
院長 森本正敏 (商4)
静岡県富士宮市西町5-7
☎(26) 3080

住まいの本格的プラザ
市川家具センター
取締役社長 市川正毅 (商4)
富士宮 富士宮市宮町10番7号
☎(0544) 26-5117(代)
富士 富士市高島町7番地
(富士市役所西200m)
☎(0545) 53-7000(代)

海外青少年派遣協力隊として インドネシアに出発した

橘 康子 さん (看護婦)



看護の道を志した橘さんは、慶応大学付属病院厚生女子学院に進学、卒業後は請われて付属病院に勤務、看護婦として約六年間看護の技術を修得しました。

看護婦として多忙の日常の中で発展途上の現実を知るほど、看護の技術を活かしたい、手助けしたいとの北高時代からの気持を抑えきれず周囲を説得、協力隊員として参加が決まりました。

北嶺会

激励金を贈る

発展途上で看護の指導に夢を馳せ、昭和五十八年度立第三十一回卒業の看護婦橘康子さん(富士宮市流川町三十四、二十七歳)

は、四月七日海外青少年派遣協力隊の一員としてインドネシアに出発しました。インドネシアでは二年間スマトラ島の国立病院で看護を指導することになっております。

看護の道を志した橘さんは、慶応大学付属病院厚生女子学院に進学、卒業後は請われて付属病院に勤務、看護婦として約六年間看護の技術を修得しました。

看護婦として多忙の日常の中で発展途上の現実を知るほど、看護の技術を活かしたい、手助けしたいとの北高時代からの気持を抑えきれず周囲を説得、協力隊員として参加が決まりました。

平成 4 年度 一般会計 収支決算書

収入の部		支出の部	
入会金	5,080,000	事業費	1,494,370
会費	5,030,000	運営費	6,989,012
雑収入	174,329	管理費	1,411,350
積立金・取崩収入	5,078,771	積立金	5,500,000
繰越金	1,446,644	収支剰余金	1,415,012
合計	16,809,744	合計	16,809,744

入会式記念講演

「お心をいただいで」

講師 遠藤是秀 氏

平成五年二月二十六日、北高体育館において、卒業式に先立って同窓会入会式が行われた。毎年恒例の記念講演は遠藤是秀氏(普通科四十年度卒)市内大泉寺住職による「お心をいただいで」という演題で行われた。

人間の五感について、見る、聞く、感じる、匂う、味わう、を解説、又、笑顔について、花に例えるならば、三分咲き、五分、八分、満開とあるが、このうちのいずれをどの様に使い分け表現するが適正かと分析された。これからは学校を巣立ち社会人として、あらゆる場面に遭遇するが、人と人との出会いが非常に大切



ガス供給で生活向上

産業振興功

藍綬褒章を受章



藤原 明 さん (綱ザ・トーカイ社長)

昭和十九年度工業化学科四回卒の藤原明氏(六十六歳)が平成五年春の褒章において、藍綬褒章受章の栄誉に浴しました。

藤原氏は、日本簡易ガス協会理事、静岡県プロパン協会会長などを歴任、業界の近代化、合理化に取り組むとともにLPガスの普及と安定供給、保安の強化に尽力してきた長年の産業振興への功績が認められたものであります。

藤原氏は、東証第一部上場企業 TOKAI (株) の社長として、従業員一八〇〇名を擁し、年商八百億円を超える一流企業に育て上げた優れた経営者であります。

TOKAI は、LP ガス販売では直売分だけで二〇万軒を超える全国一の企業で、主力のLP ガスから機器販売、住宅、土地の不動産部門まで幅広い事業を行っているといわれています。

ガス事業とかかわって四〇年余、工業化学科時代の燃料研究を含めると実に五〇年近くのこと、今まさに充実し、花開く観である。受章を心からお喜びするとともに、今後ますますの御活躍を願ってやみません。

お知らせ

- ① 1口3,000円 体育・文化後援会にご入会下さい。
- ② 来年より終身会員のみ北嶺会だよりをお送りします。
- ③ 終身会員になって下さい。(12,000円)



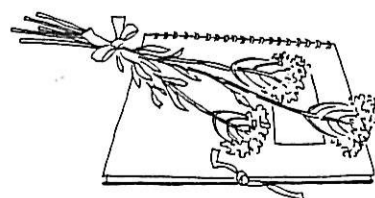
クラス紹介

昭和 25 年度 実高機械科卒業生

昭和十九年四月、私達は工業学校機械科に入学した。この年から戦時下ゆえ商業科が廃止となり化学科と二分された。制服も軍服調でカーキ色上下、ズボンの裾はゲートルを巻き木銃を肩に背負い、まさに軍隊教練で毎日登下校した。戦況酷くなり校内に工作機械が設置され毎日が工場実習であった。別に校内での作業は蝸牛防空壕掘り、校外では樹の植樹をした。今それが五十年樹としてみどり濃き素晴らしい学園を形成している。中央道の並木もこんな立派な育つとは想像も出来なかった。

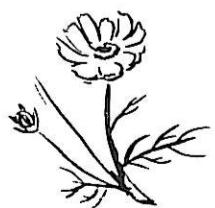
昭和二十四年春卒業の頃は学校制度が六、三、三の切替でもあったので旧制中学卒業又は新制高卒と自主選択とされた。即ち三〇%の生徒は高校卒生として残った。

お互いに卒業以後同級生は暫く開けず十五年程前からお互いに呼び掛け合い市内で集った。この趣いよいに毎年八月を選び当番幹事を交代で受け、その都度で一泊旅行も実現、毎回東京神奈川からも駆けつけ、その夜は酒の量より、近況報告が盛んに賑わい時間のたつのも忘れる。御招待の恩師山中先生には毎回出席され、有難いことに直筆の絵を額装にして出席者に抽せんでプレゼントされる。これは我がクラスのみの特権だ。全員に戴けるよう、先生には何時までも健康で絵筆を持たれますよう祈念しております。



日時 平成 5 年 8 月 21 日
場所 伊豆長岡 山田家
幹事 杉浦 宏
池谷 日出夫

(文責 内藤修次)



我がクラス会は近年になつてようやく八月中旬に集まることになっている。今回も八月十五日市内Kに集った。岡村会長には特別御出席をねがい北嶺会の現況などを皆に話してもらった。昨年の会は卒業時の担任だった井出明先生にご出席頂き懐かしい時を過ごしたが、その年末突然のご逝去もつと皆への呼びかけを密にして多数で賑やかに開催すればよかった、と悔やまれる。高校時代の仲間同志は毎年会っても話がつきない。次から次へと果てしない。

(文責 惟村忠男)

クラス紹介 一九会(実高機)



富士宮北(実高機)一九会

まほろしの工業機械科卒業生... クラス会

北高だより

将来の展望

生徒数減少、新教育過程、週休二日制、単位制、個性化、多様化、総合学科等と教育環境の変化が激しい時代です。本校のゆるぎない発展のために、長期及び短期の展望が大切な時です。職員は毎年、将来の展望について議論を継続しています。

以下が検討している問題です。

- 一、普通科、商業科ともに進学希望が、各二〇〇・七〇%前後と増加している。その進路実現としての教育過程、教科指導、コース編成、クラス編成、進路指導等のあり方。
- 二、本年も二十七名のインハイ選手を生む等運動部

を中心にして活動が一段と盛んです。この活動の一層の活性化策。

- 三、普通科志望の生徒の増加とその対策。
- 四、普通科、商業科、部活動等の多様な道への対応。
- 五、国・県の総合学科の具体的施策と(職業科)商業科のあり方。

職員の内面よりの意欲的な活性化策の検討は、将来展望に役立つとともに現状理解、打開策に真剣に取り組む多大な助けとなります。

職員の実績を取り組みに同僚の皆様のご理解とご協力をお願いします。

(教頭 持田)

大健闘! ベスト16! 野球部

夏の大会第四回戦、対静岡戦惜しくも〇―で惜敗。主戦寺内、八回まで好投。九回犠飛で一点取られる。



進学・就職状況

平成四年度卒業生の進路状況は四年制大学進学者が八七名・短期大学進学者が七四名・専門学校進学者が一三名であった(六一%)。これに対して、就職者は九四名であった(二二%)。主な進学先・就職先は次の通りです。(浪人を含みます)

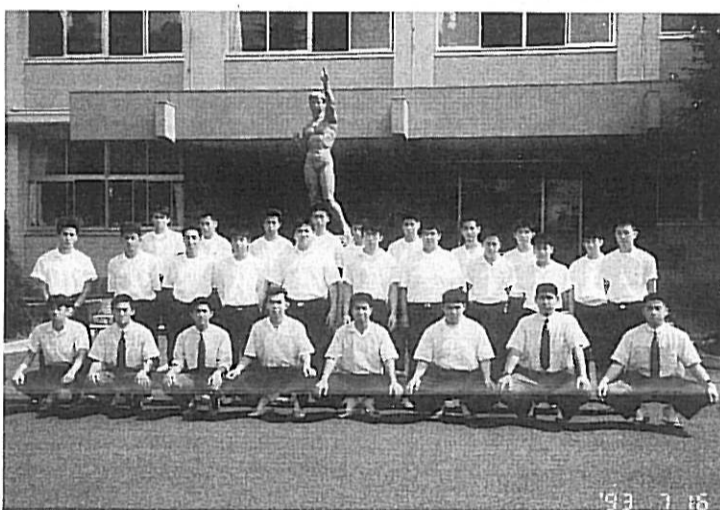
国立大学	短期大学	専門学校	就職
<ul style="list-style-type: none"> 東京外語大学 静岡大学 山梨大学 三重大学 福井県立大学 愛知県立大学 広島県立大学 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉商科大学 大東文化大学 拓殖大学 帝京大学 東海大学 神奈川大学 湘南工科大学 福井工業大学 静岡理工科大学 常葉学園浜松大学 中部大学 中京大学 名城大学 大阪経済法科大学 等 	<ul style="list-style-type: none"> 浜松短期大学 豊橋短期大学 県立沼津技術専門学校 沼津情報専門学校 県立厚生保育専門学校 静岡産業技術専門学校 大原簿記専門学校 富士学林大学 富士市立看護専門学校 国立東静岡病院付属看護学校 浜松職業訓練短期大学校等 	<ul style="list-style-type: none"> 山崎製パン イトヨーカ堂 本州製紙 駿河銀行 東芝富士 藍澤証券 清水銀行 富士信用金庫 興和 富士急行 国家公務員 富士通 日産自動車 等

私立大学 129名
公立大学 3名
短期大学 87名
専門学校 130名
就職 94名

昨年度全国二冠の三段跳び須藤先輩に続け!! 栃木高校総体での健闘を期待

男子ソフトテニス・陸上部・相撲部

バドミントン部より 27名出場



全国大会へ出場権を獲得した選手諸君

平成五年度県高校総体は五月下旬から六月初旬にかけて県下各会場で開催された。その結果、五年連続出場の男子ソフトテニス部から団体(優勝)、塩川・加藤組、望月・渡辺組、陸上部では草地(一五〇〇M)、

男子ソフトテニス部	相撲部	卓球部	野球部
<ul style="list-style-type: none"> 個人戦 団体優勝 塩川・加藤組 望月・渡辺組 赤木・増田組 武田・榎原組 個人戦 三位 塩川・加藤組 五位 望月・渡辺組 七位 楠・水越組 団体・個人三位・五位まで 全国大会出場 	<ul style="list-style-type: none"> (県総体) 団体優勝 佐野陽・石田・影山 鈴木輝・佐野昌 石川正・遠藤正 個人戦 五位 影山貴彦 七位 佐野陽介 九位 佐野昌秀 団体・個人、東海大会出場 団体・個人(影山)全国総体出場 	<ul style="list-style-type: none"> 個人戦 軽量級 二位 石川智弘 予選リーグ 山本裕也 中量級 ベスト十六 荻澤英幸 軽重量級 二位 竹島潤二 重量級 予選リーグ 勝又将志 予選リーグ 藤原 英 石川・竹島は東海大会出場 	<ul style="list-style-type: none"> シングル出場 内藤秀典・西島快修 吉野 実 ダブルス出場 内藤・吉野組 ベスト十六 その他の県総体出場の名は左の通りです。 女子ソフトテニス部 女子バドミントン部 剣道部 宮北一宮西定期戦 九一三 勝利 最高殊勲選手 大石忠広

平成5年度新入生 男女とも新制服になる!

夏服

冬服

編集後記

北海道南西沖地震・奥尻島津波の被害、今もって活発な普げん岳の噴火活動。それに追い打ちをかけるよう多数の台風。梅雨は長びきつない冷夏で秋を迎えた天変地変の年である。

一方政局も三十八年の一党支配に終りをつけ細川政権の誕生と国も世界も内外大ゆれの最中、多忙なあい間をぬって編集委員もいっになく会合を多く持った。今年も母校もハード面では整備もほぼ整い、あとはソフト面として、教育内部の

充実力を入れる時である。あとに続く立派な後輩を輩出するためにも人材育成のためにも、ま北嶺会の方の見せどころ、度量と援助を一番必要としているのではなからうか?こんな思いを編集委員一同胸にひめ、気持ち新たに取組んだ。母校に愛を...秋風骨を埋む故郷の山。

編集委員長 内藤 修次
編集委員 遠藤 康夫 渡辺 俊六
土井 明子 木内久仁彦
佐野 文紀 二又川昭史
稲田 圭佑

中川衣料(株)
中川 武三 富士宮市弓沢町800番地 (商4回) ☎(0544) 27-4157

株ヨダヤ洋品店
佐野 章 富士宮市西町10-1 (県商2回) ☎(0544) 26-2696

株ワタヤ
内藤 修次 富士宮市西町16-15 (工機8回) ☎(0544) 26-3989

(有)原洋装店
原 利光 富士市今泉9丁目8-41 (県普19回) ☎(0545) 52-0240

シューズショップ **まつばや**
(男女シューズ指定店)
遠藤 善聖 (県商3)
遠藤 智 與 (県商32)
〒418 静岡県富士宮市西町17-7 ☎(0544) 26-3922

創業35周年 あなたの町の気軽なスーパー **ひのや**
本部/富士市大淵2373 TEL/0545-36-0111(代)
専務取締役 富士 勝 (県商3)
取締役相談役 富士 康太郎 (工1)